

# 会議録

会議名	令和7年度(2025年度)第1回八王子市スポーツ推進審議会	
日時	令和7年(2025年)12月23日(火) 18:30~20:30	
場所	八王子市役所 本庁舎 702 会議室	
出席者氏名	委員	薄井信一、栗本雄史、澤本則男、杉崎雅代、鈴木紀幸、平山孝志、松井秀夫、橋本和秀、沼本邦広、松山大作、高田彬成、渡辺岳夫、井上奈津子(名簿順)
	事務局	佐藤晴久(生涯学習スポーツ部長) スポーツ振興課:吉森研吾(課長)、道木太郎(主査)、早川祐太(主任)、高野直樹(主任)、矢吹秋音(主任) スポーツ施設管理課:吉田博(課長)、阿部俊平(主査)
欠席者氏名	上田慶子	
議題	八王子市のプールの在り方について	
報告案件	第2期八王子市スポーツ推進計画に基づく取組について	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	なし	
配付資料名	第2期八王子市スポーツ推進計画【概要版】 第2期八王子市スポーツ推進計画に基づく取組一覧…資料1-1、1-2、1-3 二人のオリンピックによるたたみふれあい教室の実施結果について(報告)…資料1-4 八王子市初のクラウドファンディングで目標額達成!…資料1-5 東京2025デフリンピックに向けた本市の取組について…資料1-6 体操 JAPAN OPEN 2025 の実施結果について(報告)…資料1-7 八王子市プールの現状とあり方の検討について…資料2	

## 【会議の内容】

### 〈開会〉

発言者	内容
吉森課長	<p>それでは、時間になりましたので始めさせていただきます。</p> <p>私は、審議会事務局である八王子市教育委員会生涯学習スポーツ部スポーツ振興課長の吉森です。よろしくお願いいたします。</p> <p>まず始めに、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>〈資料確認〉</p> <p>続きまして、本審議会について簡単に説明させていただきます。</p> <p>八王子市スポーツ推進審議会は、スポーツ基本法第31条の規定に基づく附属機関であり、平成19年7月1日から設置しています。委員の任期は「八王子市スポーツ推進審議会条例第3条第2項」の規定により3年となっており、皆様の任期は令和10年6月30日までです。</p> <p>審議会の役割ですが、審議会条例により、スポーツ推進計画や、スポーツの施設及び設備、</p>

	<p>スポーツ指導者の養成及び資質の向上並びにスポーツ団体の育成に関することなどについて、教育委員会の諮問に応じ、調査、審議し、建議することが所掌事項となっております。以上が審議会の説明です。</p> <p>なお、本来は、議長は、会長が行うことになっていますが、本日は改選後、初めての審議会で会長が決まっていますので、私が進行させていただきます。</p> <p>本日の出席委員を確認します。ただいまの出席委員数は、13人です。条例第5条第2項の規定による定足数(委員の過半数)に達しておりますので、本審議会は有効に成立しています。</p> <p>会議の公開及び会議録の作成についてですが、「八王子市附属機関及び懇談会等に関する指針」に基づき、原則、会議は公開となっております。本日は非公開とすべき案件はございません。</p> <p>また、会議録は、会議の公開・非公開に関わらず作成して公表することになっております。会議録の公表にあたっては、要点筆記で作成し、委員の皆様にご確認をお願いし、会議終了後2.3か月を目安に市ホームページで公開します。</p> <p>これらのことについて、御異議ございませんでしょうか。</p> <p>《特になし》</p> <p>御異議なしと認め公開とします。</p> <p>傍聴人の方がいらっしゃいましたら入室を許可します。</p> <p>本日、傍聴人の方はいらっしゃいません。</p> <p>それでは、次第に従い進行します。</p> <p>次第1 委員の紹介に移ります。</p> <p>本日は初めての審議会となります。委嘱式の際にも御挨拶いただいておりますが、あらためて、お手元の名簿の順に各委員から自己紹介をお願いいたします。</p> <p>《委員自己紹介》</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、事務局員の職員を紹介させていただきます。</p> <p>《職員紹介》</p> <p>次に、会長及び副会長の選出 を行います。</p> <p>選出の方法は、条例第4条第1項の規定に基づき、委員の互選により行います。委員の任期と同様に令和10年6月30日までお願いしたいと考えています。よろしく願いいたします。</p> <p>まず、会長について、立候補者または推薦はございますか。</p> <p>立候補者がいないようでしたら、事務局から推薦させていただきますが、いかがでしょうか。</p> <p>《特になし》</p> <p>ありがとうございます。事務局といたしましては、今回委員2期目で、計画の改定にご尽力いただいた帝京大学の高田委員をお願いしたいと考えております。事務局案のとおり決定することに御異議はありませんか。</p> <p>《特になし》</p> <p>それでは、御異議ないものと認め、会長を高田委員に決定させていただきます。高田委員よろしく願いいたします。会長は、会長席への移動をお願いいたします。</p> <p>それでは、高田会長、就任の御挨拶をお願いいたします。</p>
高田会長	《挨拶》
吉森課長	ありがとうございました。ここからの議事進行は高田会長にお願いいたします。

高田会長	<p>ここからは、私が進行を務めさせていただきます。よろしくお願いします。</p> <p>続きまして、副会長の選出を行います。</p> <p>条例では、副会長も互選で決定することとされていますが、人数の規定はなく、慣例的にスポーツ協会所属委員とレクリエーション協会所属委員から各1名選出していると伺っています。今回もそのようにしたいと思います。私としては、前期も副会長としてご尽力いただいた澤本委員と松井委員にお願いしたいと考えておりますが、他の候補者推薦や立候補はございますか。</p> <p>他はよろしいでしょうか。お二人はいかがでしょうか。</p> <p>《特になし》</p> <p>それでは、2名の委員に引き続き副会長をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いします。</p> <p>副会長の皆様、副会長席への移動をお願いします。</p> <p>それでは、澤本副会長(松井副会長)、就任のご挨拶をお願いします。</p>
澤本副会長	《挨拶》
松井副会長	《挨拶》
高田会長	<p>ありがとうございました。皆様よろしくお願いいたします。</p> <p>次第に沿いまして報告事項に入ります。</p> <p>報告事項1「第2期八王子市スポーツ推進計画に基づく取組」について事務局より説明をお願いいたします。</p>
早川主査	<p>はい、それでは事務局よりご説明いたします。</p> <p>委員の改選がありましたので、皆様にご尽力いただき、今年度から施行している「第2期八王子市スポーツ推進計画」の内容について、配布しております計画の概要に基づき、改めて簡単にご説明いたします。</p> <p>本計画は、スポーツ基本法第10条の規定に基づき、国や東京都の計画を参考に、本市におけるスポーツ推進の基本的な方向性を定める計画として教育委員会が策定したものです。</p> <p>計画の期間は令和7年度から令和16年度までの10年間で、5年を目途に中間見直しを行う予定です。</p> <p>配布した「第2期八王子市スポーツ推進計画【概要版】」の表紙をめくっていただきまして2ページ目をお開きください。</p> <p>子どもから高齢者まで、ビギナーからアスリートまで、障害の有無に関わらず、それぞれの趣向、レベルなどに応じ、自分に合ったスポーツを見つけ、スポーツのもたらす多様な効果を楽しんで生きていく、このような想いを込め、基本理念を「スポーツとともに生きる」としています。</p> <p>また、市民の一人ひとりが自分に合ったスポーツの楽しみ方を見つけ、スポーツが充実した生活の一部として定着し、生涯を通じてスポーツに親しめるように、さらにスポーツを通じて地域を活性化させ、八王子がより元気なまちになることを目指し「豊かなスポーツライフの実現とスポーツを通じたまちづくり」を基本方針として掲げます。</p> <p>基本理念・基本構想を実現するため、「生涯にわたる多様なスポーツ推進」「スポーツができる環境の整備」「スポーツによる地域の活性化・魅力発信」の3つ基本施策とそれに紐づく施策の方向性を設定し、それぞれの考え方や方向性に基づき、スポーツ施策を総合的に進めております。</p> <p>簡単ではございますが、本市の計画の説明は以上で、続いて計画に基づく取組についてご説明いたしますので、A3資料の1-1～1-3をお手元にご用意ください。</p> <p>こちらは、計画に基づき実施している取組を一覧化したものになります。</p> <p>資料1-1が基本施策の1「生涯にわたる多様なスポーツの推進」に基づく取組で、誰もが生</p>

	<p>涯を通じてスポーツを身近に感じ、親しみ、楽しむことができるよう、市民一人ひとりのレベルや趣向、環境にあったスポーツ施策を実施していくものです。</p> <p>続いて資料1-2をご覧ください。</p> <p>こちらは基本施策の2「スポーツができる環境の整備」に基づく取組で、既存施設の老朽化や少子高齢化が一層進展する状況下において、計画的な施設マネジメントのありかたを検討しつつ、場の確保、充実に努めていくものです。</p> <p>続いて、資料1-3をご覧ください。</p> <p>こちらは基本施策3「スポーツによる地域の活性化・魅力発信」に基づく取組で、地域団体との連携や本市の特徴を活かした取組を推進し、スポーツによる地域の活性化・本市の魅力発信に努めていくものです。</p> <p>量が多いため各基本施策における特徴的な取組についてご説明しますので、資料1-4と1-6をお手元にご用意ください。</p> <p>まずはじめが、資料1-4「二人のオリンピックによるたみふれあい教室」です。</p> <p>今年の11月15日に富士森体育館において、本市出身のオリンピックメダリストである中村美里氏、高市未来氏を講師として招き、市内の子どもたちを対象とした柔道教室を行いました。</p> <p>通常の柔道の指導に加え、オリンピックによる技の披露やメダルの披露なども行い、参加者、講師のお二人から非常に好評でした。</p>
阿部主査	<p>続いて、資料1-5をご覧ください。</p> <p>市民球場であるスリーポンドスタジアム八王子のスコアボード改修のため、八王子市として初めて、クラウドファンディングを実施しました。期間は令和7年7月から9月までで、寄附金額は多くの方からご支援を頂いて目標金額を超える12,500,000円あまりとなりました。今は、現場での工事が始まっており、しゅん工は3月の予定となります。</p>
早川主査	<p>続いて、資料1-6をご覧ください。</p> <p>今年の11月15日から26日まで、日本で初めて、聾者による国際スポーツの祭典である、デフリンピックが開催されました。</p> <p>残念ながら本市での競技開催はありませんでしたが、大会を契機に、デフリンピックの陸上競技で使用する、光刺激スタート発信装置を導入しました。陸上競技は通常音でスタートの合図を行いますが、こちらは光刺激によりスタートの合図をするものです。</p> <p>大会の機運醸成とともに、様々なイベントに出展し、体験会を複数回開催しました。</p> <p>続いて、資料1-7をご覧ください。</p> <p>今年の9月6日から7日まで、オリンピックを含む、体操の一流選手が出場する体操JAPAN OPENがエスフォルタアリーナ八王子で開催されました。</p> <p>こうしたレベルが高く、規模の大きい大会を活かしスポーツ推進を図るため、大会主催者と連携し、市民の無料招待やキッズ体操教室を開催しました。また、このような大会に関わることも非常に大事であるため、市内の大学生を対象にボランティア募集を行い、計69名の申込がありました。</p> <p>こうした大規模大会をうまく活用し、する、みる、支えるの3つの視点においてスポーツ推進を図ってまいります。</p> <p>以上が、第2期八王子市スポーツ推進計画に関する取組についてのご報告となります。</p> <p>本件について、説明は以上です。</p>
高田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局の説明は終わりました。何かご質問等ございますか。</p> <p>スポーツ推進計画につきましては、前期のうちに、この審議会でも多く議論をして、そして推</p>

	<p>進計画が策定され、スポーツとともに生きる豊かなスポーツライフの実現と、スポーツを通じたまちづくりという素敵なキャッチフレーズもできました。それに基づいて、基本政策が1、2、3とございまして、八王子の魅力を発信するという視点も盛り込まれています。初めてご覧になる方もいらっしゃるかもしれません。感想でも構いませんので、いかがでしょうか。</p>
栗本委員	<p>《挙手》</p> <p>この資料を見る前の段階で知っていた取組もありましたが、クラウドファンディングを行っていたのは知りませんでした。なおデフリンピックに関しては、八王子開催ではないので、気づかなかったのだと思います。いちよう祭りには行きましたが、気が付きませんでした。体操 JAPAN OPEN と柔道教室に関してはどこからか情報を仕入れていましたが、その差が何なのかなってちょっと考えていました。</p>
高田会長	<p>クラウドファンディングは広報紙等で呼びかけたのですか。</p>
吉田課長	<p>広報紙やホームページで募集を行いました。皆様に上手く伝わらなかったことは今後検討していかなければと思います。</p>
栗本委員	<p>私もなぜこの2つを知っているのに、他の2つは知らなかったのか、理由がもし分かれば、また違う形で発表できればなと思います。</p>
高田会長	<p>ありがとうございます。情報を取りに行く人はホームページ見る等しますが、やはり情報は取りに行かないとなかなか手に入らないです。降ってくるような仕組みをつくるのはなかなか難しい状況があります。ですから限界はあるかと思いますが、色々なところで引き続きこういった取組に関して情報発信していただければと思います。</p> <p>井上委員はいかがでしょう。</p>
井上委員	<p>私は成人のスポーツの推進をメインに行っております。これからは見分を広げる意味でも、色々な方向に目を向けていきたいです。</p>
高田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>渡辺委員はいかがでしょう。</p> <p>大学生などが例えば八王子で、市内でスポーツ活動をされたり、またボランティアされたりなどという情報はございますか。</p>
渡辺委員	<p>はい。独自の取組を行っているのですが、例えば私の大学のサッカー部は自主的に、地域の小学校や子供食堂へ、ボランティア活動を定期的に行っています。近くの松が谷小学校の子供たちにスポーツを教えたり、給食を一緒に食べたり、また近くの子供食堂に手伝いに行ったり、そのような活動は行っております。</p>
高田会長	<p>ありがとうございます。ぜひ大学との連携、地域連携ということで、地元の大学でも引き続き進めていきたいと思っています。</p> <p>平山委員はいかがでしょう。</p>
平山委員	<p>はい。柔道について、2人の選手を招いて、子どもたちと接する場を設けるというのは、子供たちにとって大きな希望と夢を与えてくれる企画だと思います。私はバドミントン連盟の会長もやっており、ジュニア強化練習会という形で、実業団のチームを呼んで、実際に子供たちに生のプレーを見せると、子供たちは大変真剣に見入っているんです。そういう場をやはりいろんな種目、競技において企画していくと、子供たちに良い影響となり、そのうちもっとオリンピックに出る子供たちが増えていくのではと思います。そういった意味でこういう企画をどんどん八王子全体が参加できるような、イベントをぜひ推進していったほしいと思います。</p>
高田会長	<p>このふれあい教室につきましては、オリンピックが終わっても定期的に継続して実施していただきたいと思っています。</p>
佐藤部長	<p>平山さんはデフリンピックの会場でも従事されてましたね。</p>

平山委員	はい。デフリンピックを審判する立場として大変な部分もありました。声では伝わらないため、身振り手振りで伝えました。みなさん健常者と全く変わらない、素晴らしい動きをされていました。目で見て判断する反射神経が素晴らしく、感動いたしました。
高田会長	デフリンピック出場選手で、八王子市出身の方はいらっしゃらないのでしょうか。
吉森課長	いらっしゃらなかったです。
高田会長	<p>そうでしたか。</p> <p>ですが、八王子市には聾学校や障害がある方もいらっしゃいますので、将来のデフリンピックの選手を育成していくことは十分可能であると考えます。</p> <p>皆様ありがとうございます。ほかにはご意見よろしいでしょうか。</p> <p>《特になし》</p> <p>それでは、本件につきましては引き続き取り組みをお願いいたします。</p> <p>それでは次に、協議事項に移りたいと思います。八王子市プールの現状と在り方の検討について、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
阿部主査	<p>それでは、ご説明させていただきます。</p> <p>資料に沿って、現在の八王子市のプールの現状とあり方の検討についてご説明いたします。その後、皆様には屋外プールのあり方、屋内プールのあり方についてご意見をいただければと思います。</p> <p>「八王子市プールの現状とあり方の検討について」の【2 ページ】をご覧ください。</p> <p>1. 現状です。</p> <p>八王子市には現在公共プールが5施設、民間プールが9施設、小中学校107校、高等学校、大学にプールが設置されております。</p> <p>公共プール、学校プールにおいては老朽化が進み、大塚公園プールは令和3年度から休止しております。また、屋外プールには猛暑による熱中症リスクも懸念されております。</p> <p>方針、基準についてですが、公共プールは屋外屋内ともに未定の状態です。学校プールは「学校外プール切り替え基準」、「市立小・中学校プール利用に係る今後の方向性」を決定しております。</p> <p>市の計画との関連ですが、平成29年(2017年)「公共施設等総合管理計画」では、「屋外プールは存廃も含めて検討すること」や「民間施設との連携による効率的運営を推進」が示されております。また、令和8年(2026年)度に公共施設マネジメントの見直しを行う予定です。</p> <p>補足1にお進みください。【3ページ】です。</p> <p>こちらのスライドは、プールの効果についてまとめております。プールの効果は健康面だけでなく、「防災」、「教育・安全」など多岐にわたります。</p> <p>プールは、健康・防災・教育・地域交流など多面的に効果をもたらす社会インフラであると言えます。</p> <p>ページをおめくりください。【4ページ】です。</p> <p>こちらのスライドは、公共プールについてまとめおります。屋外は陵南プールと休止中である大塚公園プールの2施設、屋内はあったかホールプールと東浅川保健福祉センタープールと甲の原体育館プールの3施設となっております。</p> <p>過去には富士森公園に屋外プールがございましたが平成16年に廃止となっております。</p> <p>ページをおめくりください。【5ページ】です。</p> <p>こちらのスライドは、市内の民間プールをまとめております。令和6年末末と今年3月に、2施設が閉業となり、現在9施設が営業しております。</p> <p>ページをおめくりください。【6ページ】です。</p>

こちらのスライドは、市内の大学のプールをまとめております。大会等の貸し出しはありますが市民向けの一般開放はございません。

ページをおめくりください。【7 ページ】です。

こちらのスライドは、市内の高等学校のプールをまとめております。大学と同様に、大会等の貸し出しはありますが市民向けの一般開放はございません。

ページをおめくりください。【8 ページ】です。

こちらのスライドは、公共プール、民間プール、大学プールの市内の分布図となります。市域中心から東側に分布していることが分かります。

ページをおめくりください。【9 ページ】です。

このスライドからは学校プールについてまとめております。本日の議題とは致しませんが参考にご説明いたします。

先ほどお話したように、学校プールでは「学校外プール切替基準」と「市立小・中学校プール利用に係る今後の方向性」を表のように定めております。

ページをおめくりください。【10 ページ】です。

こちらのスライドは、前述の基準に伴って、学校外プールを利用している小中学校をまとめております。

ページをおめくりください。【11 ページ】です。

こちらのスライドは、学校名は伏せてありますが、利用継続する場合に大規模修繕が必要な学校となります。概算となりますがプール更新は3億円、ろ過機交換で1,600万円の費用が掛かる見込みとなっております。

ページをおめくりください。【12 ページ】です。

こちらのスライドは学校プールのイメージとなります。学校外プールの利用などを検討してまいります。

大学や高等学校につきましては、一般開放はないものの大会との貸し出し実績があるので、今後の協力等を検討する余地はあるかと思います。

【2 ページ】にお戻りください。

2 内容についてです。

(1)屋外プールのあり方としましては、「環境の変化、夏期限定、老朽化などを考慮して維持管理を行いつつ、大規模改修が必要となった際は廃止も含めてあり方を検討する。」としております。

補足 2 にお進みください。【13 ページ】です。

こちらのスライドは公共プールの方向性についてSWOT分析を行ったスライドとなります。赤字が屋外プール、青字が屋内プールとなります。

初めに屋外プールについて、ご説明いたします。

内部環境について、「開放感・季節感がある」などのプラス要因はありますが、「気温上昇や豪雨による中止・利用制限リスク」などのマイナス要因がございます。

外部環境について、「夏期限定の観光資源・イベントとしてのブランド化」などのプラス要因がありますが「猛暑・熱中症リスクの増大」などのマイナス要因もあります。

それぞれの環境でクロス分析を行った結果を中心に示しております。

ページをおめくりください。【14 ページ】です。

こちらのスライドは、令和 2 年度以降にプールを廃止した一都三県の自治体をまとめたものです。

東京都、埼玉県のプール廃止理由は老朽化、利用者減少などですが、府中市では猛暑対策

	<p>を理由としております。</p> <p>ページをおめくりください。【15 ページ】です。</p> <p>こちらのスライドは、神奈川県と千葉県についてまとめたものとなります。</p> <p>ページをおめくりください。【16 ページ】です。</p> <p>こちらは八王子市の公共屋外プールの収入と利用人数の推移となります。年々減少傾向にあることが分かります。令和 3 年の大塚公園が休止した年は、陵南プールの利用人数が増加しましたが翌年以降はまた減少しております。</p> <p>ページをおめくりください。【17 ページ】です。</p> <p>こちらのスライドは、八王子市の8月の気温変動と近隣市の状況についてまとめたものです。気温は上昇傾向にあり、今年の夏は観測史上最高の 40.3 度を記録しております。</p> <p>また、府中市では屋外プールの整備を行わずに屋内へ移行することが10月3日の読売新聞に掲載されております。</p> <p>【2 ページ】にお戻りください。</p> <p>(2)屋内プールのあり方としましては、「環境変化の影響が少ないこと、地域住民の健康増進、スポーツ推進や屋外プールの代替などの理由から効果効率的な維持管理を継続するなど、あり方を検討する。」としております。</p> <p>あったかホールプールについては、「現在小学校の水泳授業として活用していることも踏まえ、屋内プール及び学校プールの双方の考えを考慮してあり方を検討する。」としております。</p> <p>補足 3 にお進みください。【19 ページ】です。</p> <p>こちらは先ほど屋外の方針でも示した SWOT 分析となります。青字の屋内プールについても、屋外プールと同様にクロス分析を行っております。</p> <p>ページをおめくりください。【20 ページ】です。</p> <p>こちらのスライドは、条例で定めた屋内プールの設置目的となります。</p> <p>屋内プールの設置目的は「健康の増進」「教養の向上」「スポーツ振興」など多岐にわたり、市民に与える影響は大きい施設となります。</p> <p>ページをおめくりください。【21 ページ】です。</p> <p>こちらのスライドは、屋内プールの利用人数の推移となります。</p> <p>甲の原体育館プールは令和 3 年度、4 年度に改修工事、東浅川保健福祉センタープールは、令和 2 年度に改修工事とコロナで休館があったため利用人数が減少しております。また、令和 4 年の 3 月から 7 月までも休館しております。それ以外は利用人数が安定していることが分かります。</p> <p>【2 ページ】にお戻りください。</p> <p>(3)学校プールの方向性としてしましては「小中学校の水泳授業の場を確保するため、拠点校の必要性を含めた学校プールの再編について個別に検討を進める。」としております。</p> <p>学校プールは基準や方向性を決めてはおりますが水泳授業の場を確保するためさらに検討を進めることとしております。</p> <p>ご説明は以上となります。</p> <p>屋外プールと屋内プールについてご意見をいただけると幸いです。</p> <p>それでは、よろしく願いいたします。</p>
高田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局の説明は終わりました。本件は協議事項になりますので、委員の皆様の積極的な発言をお願いします。</p>



澤本副会長	<p>《挙手》</p> <p>実は、今年の3月に2つ要望を出しまして、1つ目は体育施設が足りないので武道館を作っていたきたいということ、2つ目は50mプールを作っていたきたいという要望書を提出しております。ご検討はいただいているのでしょうか。</p>
佐藤部長	はい。ご要望として受けております。
高田会長	50mプールがあれば、国際級の大会の開催も可能となることが期待できるのではないのでしょうか。
澤本副会長	<p>根拠は、市民水泳大会について、法政大学をお借りしていたのですが、法政大学の使用不可に伴い、甲の原体育館で開催している状況です。水泳連盟の方と話したところ、正式なタイムを計ることができないと、良い選手が集まらない、ということでした。近隣のプールが少なくなったのであれば、逆に八王子市へ呼ぶという考え方をスポーツ協会はしています。予算的にお金がかかるのは承知しております。数年前の審議会で、甲の原体育館の補修工事をした際に、耐用年数が50年のところ、まだ25年しか使用していないためもったいないから25mプールのままとする、との話が出たかと存じますが、そのような記録であっておりますでしょうか。</p>
佐藤部長	<p>はい。当時、甲の原体育館に25mプールがあり、その近くの婦人補導院が昭島市に移転するとの話がありました。移転後の跡地を利用し、今の体育館を壊して、ちょうど隣地部分を合わせれば50mプールが作れるのではないかと、となりましたが、おっしゃる通り、当時は建物が25年しか経っていませんでした。そのため、将来建て替えをするときには、50mプールにすることもいいのではないかとのお話となっております。</p>
高田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>学校も現在、プールの老朽化が進んでおります。夏場は水泳の授業もしづらい状況があります。学校関係の方にもご意見頂戴できればと思いますが、いかがでしょうか。</p>
沼本委員	<p>《挙手》</p> <p>私のいる石川中学校は新しくはないですが、現状、少しずつ改修しながら使っている状況です。暑さ対策については、日陰を多く作り、WBGTが31を超えないように設定するとともに、水温をどんどん下げて、外気温と水温を足して、基準値まで冷やしています。とは言っても、プールをやっている間は非常に気を使っており、帰る時には必ずプール確認して帰ります。</p> <p>その他に、学校プール以外の部分ですと、中学生はみんな50mプールや屋外のプールには行かない印象があります。サマーランドや昭和記念公園へ行くため、中学生について言うならば市民プールについては出来ても行かないだろうと感じます。</p> <p>意外だったのですが、資料21ページの利用人数って意外と多いのですね。これは、例えば小学生が自分の近所のプールが使えないから行くという場合もカウントしているのでしょうか。</p>
阿部主査	利用人数を掲載しております。
沼本委員	そうなのですね。わかりました。
高田会長	ありがとうございます。松山委員はいかがでしょうか。
松山委員	<p>はい。まず、熱中症についてですが、今年は数名、暑すぎてプールサイドで足の裏をやけどをしてしまった生徒がいました。プールサイドに水を撒いておりますが、水がお湯になってしまいます。午後はプールの授業が実施できず中止にすることが多くなり、午前中の1時間目または2時間目のみ実施する等、暑いからできない、ということが増えたと感じております。また、施設の老朽化については、床がひび割れている等、老朽化が見受けられる学校を私自身も経験してきました。施設の管理のために、教員が水質管理をしなければならないということ等、日々緊張感を持ちながら職務にあたっています。できれば、近隣の水泳の室内スポーツクラブに指導をお願いできたら、熱中症の心配もなく、生徒のレベルにあった指導ができるため、教員の多くが望</p>

	<p>んでいると思います。ですが、立地条件等、色々なリスクがありますため、結論を出すのは難しい問題だと改めて感じています。</p>
高田会長	<p>民間のプールを活用してる事例はあるのでしょうか。</p>
吉田課長	<p>あります。資料10ページのスライドの11の小学校と1つの中学校が、右側にありますスポーツクラブ等で実施しています。</p>
高田会長	<p>立地条件の良い学校ということですね。</p>
吉田課長	<p>はい。また、表の下の方にあるあったかホールについては、公共のプールです。</p>
高田会長	<p>室内プールであるから、夏場だけではなく、年間通して使用でき、さらに天候にも左右されず授業計画通りにできるというメリットがありますね。利用する際にかかる費用は市が負担しているのでしょうか。</p>
吉田課長	<p>教育委員会で負担しています。</p>
高田会長	<p>教育委員会で負担されているのですね。 こういった学校が増えれば、老朽化したプールを使用しなくて済むということですね。 障害者のプール利用という面について、橋本委員いかがでしょうか。</p>
橋本委員	<p>はい。特別支援学校の場合では、プールの改築等で、センターのプールを利用させていただきたいとお話をいただくことがあります。一般の利用の方もいらっしゃる中で、今年度、私どもセンターの休館日である水曜日について、午前中からお昼にかけて開放する事例がございます。また、今般の暑熱対策というところでは、来年度以降になりますが、やはり屋外のプールでは実施ができないため屋内のプールを使わせていただけないかとの要望も幾つか出ております。そのようなご意見に対して、休館日の日ですと、一般利用の方もバッシングしません。また、特別支援学校も肢体不自由の学校もあれば、知的障害の学校もあります。肢体不自由の学校の場合は2人ぐらいの生徒さんに対して、教員が5、6人来るというような形で、非常に手厚くしなければいけないところもある中で、私どものセンターは非常に使い勝手が良いとお話をいただいております。</p>
高田会長	<p>例えば車椅子の方が利用できるようなプール自体少なく、施設にスロープがあるか等のバリアフリーの対応についても、公共のプールではきちんと整備されていない場合があると伺っております。センターだけではなく、公共のスペースにも障害者対応の施設を設置していくということが求められるのではないかと思います。 同じ東京都でも、23区のとある区では、学校のプールがそのまま市民プールとして使用できるような屋内の施設になっているところが増えています。昼は学校で使用し、夜間は区民の方が使用し、年間通して活用できるようにしています。また一方で、他の区では、区全体で学校のプールを使わずに、全て民間のプールを使用するところもあるそうです。それは民間の施設があるからできるのであって、同じことを八王子で実施しようと思ってもなかなか難しいと考えます。大きなプールを作って、そこを拠点にすれば可能かもしれませんが、実現には莫大な予算が必要になりますし、それだけ沢山の拠点のプールを整備し、小中学生や近隣の方が網羅できるような配置をするというのは、あまり現実的ではないかと思います。ですが、1つでも2つでもモデルケースをつくり、そこから様々な検証をしながら、より良いものを見出していくという取組は必要だと思います。ほかに、屋外プールについて、ご意見はございますか。</p>
栗本委員	<p>《挙手》 はい。暑くてプールに行くのに、水が熱くて入れないことが多く、そのようなことが続くと、屋内プールを選択します。毎年このような暑さが続くならば、屋外プールはやめた方がよいのではないかと、思います。</p>
高田会長	<p>ありがとうございます。ほかに、いかがでしょうか。</p>

井上委員	<p>《挙手》</p> <p>はい。小学生でも水筒を持って、日傘をさしている時代になりました。そのような状況を見てみると、やはり屋外プールは足が遠のくのではと感じます。</p>
高田会長	<p>ありがとうございます。</p>
栗本委員	<p>あったかホールは天井が開くのですが、天井が開いていると、開放感があって良いと感じます。私は、基本的には屋外に行きたいなという気持ちが強いのですが、泳げない時間があまりにも多いです。やはり公共施設なので、その辺を重視するとそうになってしまうのはしょうがないことですが、時間がダメになるリスクを減らしたいので屋内プールを選択します。</p>
高田会長	<p>ありがとうございます。そのようなデメリットがあるということですね。</p> <p>杉崎委員はいかがでしょうか。</p>
杉崎委員	<p>はい。私は、親の立場としてご意見させていただきます。子供たちが小学生のころは、プールにとっても喜んで行っていました。孫についても喜ぶので、なるべくプールに入らせてあげたいなと思っています。スプリンクラー等を撒きながら、太陽の日を浴びてくれたらと思っています。</p>
高田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>松井副会長はいかがでしょうか。</p>
松井副会長	<p>今の異常気象を考えると、屋内プールにせざるを得ないかなと感じています。クラウドファンディングをやってみるのも良いと思います。野球ができたのですから、プールもできるのではと思います。また、大学のプールを開放するのも、将来大学に入ってくれるかもしれないと考えれば、良いのではないのでしょうか。</p>
高田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>鈴木委員はいかがでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>小学校のプールを開放したプール開放事業について、利用者多いんだと感じています。今もプール開放事業を行っているようですが、最近の気温では、これからは外のプールは屋根を付ける等の何かしらの対策が必要となってくると感じています。ですが、そう考えるなら屋内にした方が良いという考えになるのかもしれない。</p> <p>スポーツ協会には水泳連盟がありまして、実は今年、児童養護施設から水泳連盟宛に指導員を出してくれないかと要請がありました。水泳連盟の理事会で検討しましたが、水泳連盟が高齢化で屋外プールの指導にはあたれないとの結論となりました。また、学生を募集しても、人材不足により集まらないとのことでした。スポーツ協会としては協力を断念してしまいましたが、指導の関係も出てきますので、民間のプールを使ってやるというのも1つの手だなと思います。</p>
高田会長	<p>ありがとうございます。屋外については少しネガティブな意見が多いように感じます。整備をしても使用できなかつたり、暑すぎて使用不可能だったり、また期間が限られていたりということで、費用対効果と言いますか、お金をかけるべきなのか、というのが、委員の皆さんのご意見です。</p> <p>薄井委員、いかがでしょうか。</p>
薄井委員	<p>はい。私が知る人達はお年寄りが多く、健康のためにプールへ歩きに通っているなんて話も聞きます。そのため、50mの競泳プールも利用として良いと思いますが、健康のためにもっと利用してもらいたいとPRをすると、お年寄りの人は行く方が多いのではないかと思います。利用方法をチラシ等でPRすると、もう少し増えると思います。</p>
高田会長	<p>ありがとうございます。そうですね。水泳はフレイルやリハビリにも効果が期待できます。</p>
薄井委員	<p>はい。</p>
高田会長	<p>他にいらっしゃいますでしょうか。</p>
渡辺委員	<p>民間のスポーツクラブを利用する際に、どのくらいのコストがかかるのでしょうか。また、頻度</p>

	がどのくらいなのでしょう。
阿部主査	はい。資料 11 ページをご覧ください。コストについて、学校プールを利用した場合は年間経費が約 540 万円、民間施設利用(バス移動)は約 460 万円、民間施設利用(徒歩移動)は約 240 万円、公共施設利用(バス移動)は約 250 万円かかります。
佐藤部長	利用頻度については、学校のプールだと 1 時間で終わりますが、民間施設利用だと 2～3 時間通して泳ぐことができる代わりに、2 日か 3 日行ったら終わりです。
渡辺委員	わかりました。屋内プールを利用されている小・中学校について、利用されない小・中学校は近隣にスポーツクラブ等が無いからなのでしょう。
吉田課長	まだプールが老朽化に耐えうる、まだ使用できる学校も、もちろんあります。また、近隣の学校のプールを使用するケースもあると思われます。今後、近隣の学校のプールも老朽化していきプールが無くなっていくなかで、次にどこを使用するかとなった際に、民間のスポーツクラブ等も選択肢に入ってくると思います。
渡辺委員	<p>おそらく、すべての小・中学校について、民間のスポーツクラブを利用できるリソースは無いと思いますので、屋外プールが危険な状況ではあるかもしれないのですが、簡易式の屋根で日陰を作るというように、暫定的にビジョンを建てて、使えるところは使っていくというのもあるのかなど、個人的には思っています。</p> <p>また、さっき 50m プールの話がありましたが、私の大学も 50m プールが屋外のみで、屋内プールは 25m しかないため、50m プールが欲しいと学内世論で言われています。そのため、八王子市民にも開放して、大会誘致の際に優先的に使えるようにして、小・中学校にも開放する、そんな色々な関係者が使えるプールを作ってもいいのでは、と感じました。</p>
高田会長	<p>ありがとうございます。屋外プールも今まだ使えるところは沢山あると思いますので、さらにより良く使えるように日陰を整備する等、さまざまな工夫が必要だと考えます。そして、老朽化して全面改築の必要がある施設に関しては、改築してまた屋外にするのではなく、新たな拠点として屋内プール等の整備に費用を充てるのが望ましいという意見にまとめられるかと思っています。</p> <p>議論の尽きないところではございますが、時間も限られておりますため、ここで閉じさせていただきます。その他、事務局から協議事項等ありましたらお願いいたします。</p>
佐藤部長	今回、プールをテーマに協議したのですが、体育館や野球場も老朽化しています。今、スポーツをする環境は変わっていますので、今後 3 年間、皆さんから施設のことやスポーツのあり方について、色々なご意見を賜りたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。
高田会長	ありがとうございます。それでは次回のことについてよろしく願いいたします。
吉森課長	事務連絡として、次回の審議会は3月を予定しています。日程は会長・副会長と調整し、あらためて通知いたします。事務局からは以上です。
高田会長	本日の案件は全て終了しました。以上で、本日のスポーツ推進審議会を閉会いたします。今後とも皆様よろしく願いします。